



第163号

発行日
2020年9月25日

編集兼発行
〒020-0866
岩手県盛岡市本宮2丁目35-1
盛岡商業高等学校
新聞編集委員会

印刷所
杜陵高速印刷株式会社

特集1 熱戦！ 体育祭2020

～総合優勝3年A組～



盛商生の底力

今年度が始まって早くも五ヶ月が経ちましたが、日々、皆さんはどのように過ごしているのでしょうか。

生徒会長 三宅 佐藤 亨 先生

今年度は新型コロナウイルスの影響により、様々な行事が中止・検討されているが、皆さんは不安や混乱の中にいるとは思いません。そのように思いますが、自分たちがやるべきことを考え、落着いて行動することを心がけてほしいです。

特に三年生は、自分の進路活動の中で焦りを抱いている人もいます。日々、変化の激しい状況で、この先、いつ、どこで、何が起ころうか分かりません。だからこそ、今のうちに自分の進路に向けて準備を進めてほしいです。今こそ皆さん一人ひとりの底力を発揮して、自分を磨いていきましょう。



六月二十四日・二十五日の二日間、一大イベントである体育祭が行われた。新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれたが、体育祭実行委員長の小野寺周生さんは「応援を同じくして制限したり、体育館の入口に消毒液を置いて、密を避けるために特別教室を開放して」と振り返った。



優勝おめでとう！3年A組



待機場所を確保するなど工夫をして体育祭を開催した」という。

また「規模を縮小して、競技数も少なく、例年とは違う体育祭だった」と語る。

新型コロナウイルスの影響で、体育祭の開催が困難な中、体育祭実行委員会をはじめ、たくさんの方々の工夫や協力によって行われた体育祭は、思い出に残る体育祭となった。

(三D 荒川 瞳愛・小澤 美空・佐藤 美友)

クラスTシャツ紹介

三A A組の明るく元気なところを黄色で表現しました。仲良し！優勝！

三B 自分たちの若さを思い出せるような体操着Tシャツ。可愛さ・懐かしさを追求しました。

三C C組のクールなイメージを表した。紫が特徴的。

三D 情熱の赤と背文字で皆の個性が出ています！

三E E組の性格のようないろんな色を取り入れたデザイン！蛍光ペンで書いたようなピンクのラインがポイント！

三F 白がかったいい！金の文字がかっこいい！



左からD組E組F組



左からA組B組C組

写真部・書道部

第44回全国高等学校総合文化祭

こうち大会WEB SOUNBUN出品

書道部は21年ぶりの全国へ

七月三十一日(金)・八月一日(土)に開催されている「第44回全国高等学校総合文化祭こうち大会 WEB SOUNBUN」に、本校写真部では「作品」書道部では「作品」を出品しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、インターネット開催となりました。

写真部の三宅 琴音 さんは、「他県の人達の様々な作品を見るために、高知県に行きたかったが、審査の機会をいただいたことはとても嬉しうな。」「二日、川崎 遥菜 さんは、「全国へ行き、他の写真部員の方々と交流し、技術等を高められたことが、残念。」と思いを述べた。

二十一年ぶりに全国への切符を手にした書道部の三宅 佐藤 先生は、「貴重な機会だったため、

例年通りに開催されないことは残念だったが、悔しさをにじませたが、「WEB」という新しい形での交流は楽しかった」と、期待も大きい。

これらの三作品は、インターネット上で一般公開されている。是非、作品を見てほしい。

(二C 柚木 彩未・吉田 紀雄)



(左から) 3B 薄衣 琴音さん、2B 川崎 遥菜さん、2F 佐藤 沙弥さん

二〇二〇岩手県U18サッカー大会

優勝

七月五日(日)、二〇二〇岩手県U18サッカー大会の決勝戦が、盛岡市校。前半早くも得点を決めた盛岡チームは、さら

に後半で二点を獲得し、相手チームに完全勝利し、優勝を勝ち取った。

今年度は新型コロナウイルスの影響で大会を縮小され、県内のみでの開催となった。キャプテンの三宅 上 純太 さんは、「三年生の大半が大学進学のため、アピールの場がなくなることは残念だったが、代替大会開催のおかげで活躍の場を作ってくれたことができた。この大会を企画して下さった関係者の方々に感謝したい」と語った。また、今後の大会への課題を話し、取れるタイトルを全て取っていき、と意気込みを示した。

サッカー部には、再び全国への道を切り拓いて今後とも勝利を勝ち取ってもらいたい。

(三A 岡田 すす・佐藤 優菜)

軟式野球部

背番号をもう一度

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、全国高等学校軟式野球選手権大会の代替として、東北地区高等学校軟式野球大会が、六月二十七日、二十八日、三十日に岩手県営野球場で行われた。準決勝では、黒沢尻工業高校を相手に打線は、「一塁高給球が中止となり、代替大会が行われなかった」という。大会を開催してくれたことに感謝したい。最後の大会では、一球一球に集中して全力で楽しめた。今後は練習自粛等で野球ができない時期を経験したが、野球ができる当り前のありがたさを再確認することができた。」と語る。

昨秋の県大会上位校同士の試合は、初回から点の取り合いとなり、両校譲らず七回で迎えた八回裏、盛岡は二点を奪われ、最終回の反撃も届かず無念の敗退となった。今回の大会について、主将の三宅 知樹 さんは、「一塁高給球が中止となり、代替大会が行われなかった」という。大会を開催してくれたことに感謝したい。最後の大会では、一球一球に集中して全力で楽しめた。今後は練習自粛等で野球ができない時期を経験したが、野球ができる当り前のありがたさを再確認することができた。」と語る。

昨秋の県大会上位校同士の試合は、初回から点の取り合いとなり、両校譲らず七回で迎えた八回裏、盛岡は二点を奪われ、最終回の反撃も届かず無念の敗退となった。今回の大会について、主将の三宅 知樹 さんは、「一塁高給球が中止となり、代替大会が行われなかった」という。大会を開催してくれたことに感謝したい。最後の大会では、一球一球に集中して全力で楽しめた。今後は練習自粛等で野球ができない時期を経験したが、野球ができる当り前のありがたさを再確認することができた。」と語る。

商品開発

流通ビジネス科

三年生の流通ビジネス科では、商品開発の授業で企業と共同で岩手の食材を使った魅力あるパンを製作している。三宅 千葉 さんに話を聞くと、「コンセプトを大事にしつつ、高校生らしさを忘れないことを気を付けている。また、コロナ

販売までの実践的な活動と話し合いをする場面が。普段高校生で、取り組むことができない企業の商品開発のリアルについて担当の福原 先生は、「高校生生活で培ってきた知識を活かし、地域の特産物に目を向け、開発から流通、

外久保 菜々 さん



3A 野樹 主将のホームラン



コロナ士魂

今年度は、新型コロナウイルスの流行に伴い、本校でも様々な対策を行っている。今号では、感染症予防対策に取り組む委員会を中心に紹介したい。さらに、各種大会が中止になり、代替大会に参加した部の中から、サッカー部、軟式野球部、硬式野球部の活躍についても取り上げた。

新型コロナウイルスの流行により、例年よりも各委員会活動の活躍が多かった。今号では、保健委員会、図書委員会、さ

り上げたい。全国的に新型コロナウイルスが猛威を奮う中、本校では感染症対策を徹底して行っている。こまめに消毒をする、三密を避けるなど、一人ひとりの行動が予防につながっていく。特に、人が集まる学校は注意が必要だ。全校生徒の予防対策を促進するために日々、活動してくれている各委員会の皆さんに感謝したい。▼感染症対策をしながら行われた野球、サッカーの代替試合は、新型コロナウイルスによって落ち込んでいた空気を清々とした。サッカー部の優勝、野球部の活躍は、直接応援に行けなかった全校生徒に元気を与えてくれた。▼また、今年度から制服着用の紺ソックスが導入された。服装規定について、改めて見直す機会ではないか。制服のリボンの結び方やスカートの丈、くるぶしソックスなど、制服の着こなしについて注意を受けた人もいよう。特に三年生は、これから進路活動が本格化する中で、普段から正しい姿勢で過ごすことは自分の進路にとっても重要である。▼今号から、学校生活について「考える」新聞作りを目指す。盛商生の考えを取り上げること、盛商生らしさを発信する新聞にしていきたい。全校の皆さんも盛商新聞をきっかけに、改めて盛商の今を知ってほしい。

(三D 荒川 瞳愛)

